

矮性ネピアグラスとイタリアンライグラスとの組み合わせによる同一圃場での省力的な飼料作物の栽培技術

目的: 家畜の嗜好性および永続性の高い夏季の飼料作物を導入し、イタリアンライグラスとの組み合わせによる省力的な栽培体系を確立する。

表1. 長崎県内における矮性ネピアグラスの越冬率.

草種	北松浦郡 鹿町町	平戸市 田平町	五島市 三井楽町	北松浦郡 小値賀町	長崎県畜産試験場(島原市有明町) ²⁾			
	2007年(造成2年目)				2005年	2006年	2007年	2008年
越冬率(%) ¹⁾	93.8	95.7	97.0	95.7	98.6	90.7	90.3	90.3

1) 越冬率 = 越冬株数 / 造成初年目の植え付け株数 × 100.

2) 畜産試験場は造成2年目 ~ 5年目の越冬率.

表2. 九州北部地域の夏作 - 冬作体系における年間乾物収量の試算.

作付け体系	乾物収量 (t/10 a)		
	夏作	冬作	年間合計
矮性ネピアグラス - イタリアンライグラス	1.6 ~ 2.0	1.1 ~ 1.4	2.7 ~ 3.4
トウモロコシ又はソルガム - エンバク又はイタリアンライグラス	-	-	2.4 ~ 3.7 ¹⁾

¹⁾ 館野宏司(1991). 日草九支報21(2). 11-17.



写真. 矮性ネピアグラス

成果の特徴

- ・矮性ネピアグラスは**越冬率**が高く、**多年利用**が可能(表1)。
- ・矮性ネピアグラスは、サイレージの嗜好性が高く、**TDN含量**が**55 ~ 60%**とソルガムサイレージ並。
- ・矮性ネピアグラス草地に**イタリアンライグラス**を追播すると、**同一草地**で冬作粗飼料が確保でき、年間合計収量は西南暖地の一般的な作付け体系に匹敵(表2)。